

2025 年度学連大会運営補助金システム

作成：2023 年度日本学生フライヤー連盟理事長 櫻井悠馬

改定：2025 年度日本学生フライヤー連盟副理事長 浅田拓郎

☆目的・背景

- ・ 学連公認大会運営の負担軽減
- ・ 学連公認大会参加者・スタッフへの間接的な負担軽減
- ・ コロナ過で学生大会が長らく行えていないこと、学生フライヤー数の減少に伴い、開催するにあたっての運営・参加推進。
- ・ 参加者への直接的なエントリー補助等ではなく、運営側への補助にすることによって参加者が少ない場合でも開催できるようにする。

☆適用条件

- ・ 学生リーグ対象大会、新人戦など、学連公認大会。砂丘合宿。
- ・ 予算案を学連に提出し、承認を得た場合。
- ・ 大会終了後すみやかに決算を提出し、補助金使用の透明性が確保された場合。

☆支給額

- ・ 上限額は1大会あたり 40,000 円までとする。

☆申請方法

- ・ 学連グループウェアに、前年度決算と希望額を組み込んだ予算案を提出する。

☆振り込みについて

- ・ 大会終了後決算を提出し、再度承認を得た場合、大会に使用した口座に学連から振り込む。
- ・ 黒字が出た場合は（希望額）－（黒字額）の差額を補助金として振り込む。